

Sonoda & Kobayashi Intellectual Property Law

IP News Bulletin

日本語版 2023年6月号

[日本語版ニュースレターバックナンバー](#)

[英語版Newsletterバックナンバー](#)

<このニュースレターは、名刺を頂いた方あるいは当所のデータベースにメールアドレスが登録されている方にお送りしています>

—トピックス—

1. 園田・小林からのお知らせ
2. 日本国特許庁に関するニュース
3. 中国特許庁に関するニュース
4. Meet Our Members!

・翻訳部 Paul Craig

1. 園田・小林からのお知らせ

すごい知財 EXPO2023に出展いたします

国内外から最先端のサービスと知財人が集うイベント「すごい知財EXPO2023」が2023年8月23日（水）・24日（木）にオンライン開催されます。園田・小林弁理士法人は両日とも出展いたします。

お客様としてのご来場申込みは無料となっております。各出展者のブースで担当者とお話頂けるのはもちろんのこと、知財講演会も予定されています（詳細は、[こちら](#)）。

弊所担当者一同皆様をお待ちしております。

●「すごい知財EXPO2023」ウェブサイト: <https://super-ip-expo.com/>

●来場者申込フォームは、[こちら](#)。



2. 日本国特許庁に関するニュース

2-1. 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた手続に関する、期限緩和の特例措置が終了しました

特許庁では、令和2年4月以降、特許、実用新案、意匠及び商標に関する出願等の手続について、新型コロナウイルス感染症による影響を受け、期間内に手続ができなくなった場合に、特別措置を設けてきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴い、当該特別措置を終了し、従来の救済措置の運用に戻すことになりました。この従来の救済措置の要件適用は、手続期間（法定期間又は指定期間（期間延長される前の期間））の末日が令和5年5月9日（火曜日）以降の手続が対象です。

●特許庁ウェブサイト:

https://www.jpo.go.jp/news/koho/info/covid19_tetsuzuki_eikyo.html

2-2. 特許出願技術動向調査に関するスライド及びパンフレットが公表されました

特許庁では、新市場の創出が期待される分野、国の政策として推進すべき分野を中心に、今後の進展が予想される技術テーマを選定し、特許出願技術動向調査を実施しています。本調査結果は、企業や大学等における研究開発テーマや技術開発の方向性を決定する上で有用なものです。

本スライド及びパンフレットには、本調査の概要や、本調査報告書を活用するメリットや企業の活用事例等が、わかりやすくまとめられています。

●特許庁ウェブサイト:

<https://www.jpo.go.jp/resources/report/gidou-houkoku/tokkyo/index.html>

●弊所へのご相談

弊所では、調査サービスも行っております。特定の分野における開発動向など、お客様のご希望に沿った調査も可能です。またGXTI関連の調査も承っておりますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先: DCS@patents.jp 又は <https://www.patents.jp/ja/contact/>

2-3. 令和元年意匠法改正特設サイトができました

令和元年意匠法改正（以下、「意匠法改正」）により、我が国意匠法において、新たに画像、建築物、内装の意匠が保護されるようになり、また、関連意匠制度も拡充され、本意匠の意匠公報発行後（基礎意匠の出願から10年を経過する日前まで）も関連意匠の出願が可能となりました。

以下の特許庁ウェブサイトでは、意匠法改正に関する情報がまとめて紹介されています。

●特許庁ウェブサイト:

https://www.jpo.go.jp/system/design/gaiyo/seidogaiyo/isyuu_kaisei_2019.html

3. 中国特許庁に関するニュース

「青空」知的財産権代理業の特別是正措置のさらなる推進を発表

中国国家知識産権局（中国特許庁）は、2023年4月10日の通達で、知的財産権代理業を規制・強化するために「青空」特別是正措置を引き続き実施する意向を表明しました。この措置は、異常な特許出願や悪質な商標出願など、中国における違法な代理業行為を抑制するために実施されています。今回の通達では、具体的な措置の概要が示されています。

- 商標代理業に関する新規規定を厳格に施行し、あらゆる種類の顕著な違法代理行為を取り締まる
- 業界秩序維持のための特許代理業の継続的な是正
- 総合的な監督システムの構築の加速

中国特許庁は、地域横断的な共同監督を重視し、是正運動の成果の公表を奨励し、地方から詳細な計画や年次総括を要求しています。監督能力を継続的に向上させ、経験や実践を共有することを目的としています。

●英語版Newsletter(Newsletter May 2023, "3. CNIPA announces the furtherance of the

"Blue Sky" IP agency rectification campaign")の記事は[こちら](#)

4. Meet Our Members!

—本号では翻訳部 ポール・クレイグをご紹介します—



ポール・クレイグ (Paul Craig)

技術翻訳者

日本の大手鉄鋼メーカーにて12年間勤務。技術者や研究者に言語指導を行う。フリーランス翻訳者として10年以上の経験あり。2016年のスイス・ジュネーブの世界知的所有権機関（WIPO）におけるフェローシッププログラムを経て、2017年当所に入所。

Q1: 特許との出会いについて教えてください。

私が特許に出会ったのは14歳の時で、50歳年上の発明家の工房でアルバイトを始めたのがきっかけでした。私たちはイギリス版マーティとドク※のようでしたが、タイムマシンではなく、電動糸ノコを作っていました。その後、日本の大手鉄鋼メーカーの研究開発部門で、研究者やエンジニアと一緒に働いていたときに、特許についてほんの少し学びました。

※映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」の主人公と博士

Q2: 特許翻訳に携わるきっかけはなんですか？

もともとは、復学資金を得るために知財関連文書の翻訳を考えたのがきっかけでした。しかし、長年フリーランスの翻訳家として働いてきた私でも、ほとんど理解できないことにショックを受けました。その後、ジュネーブのWIPO本部で行われた翻訳フェローシップに参加し、知的財産の分野で使われる特殊な言い回しを解読する方法について貴重な指導を受ける機会を得ました。

Q3: 園田・小林で働いていかがでしょうか？

同僚は皆さん親切で歓迎してくれました。園田・小林では、それぞれが対等で個々の強みを発揮しています。みんなの意見が大切にされるので、アイデアを共有することが自然にできる所だと感じています。

Q4: 業務上心がけていること等ありますか？

日英翻訳チームの一員として、文章の意図を理解し、適切でわかりやすい表現を心がけています。そのためには、日本語の理解を深めること、関連する技術分野の理解を深めること、そして知的財産分野の技術文書で使用される言語慣習を熟知していることが重要であると考えています。

Q5: プライベートはどのように過ごされていますか？

溺愛している犬と歩いたり遊んだりしています。また、自称「週末農家」なので畑にはかなりの時間を費やしており、結果に一喜一憂しています。また、できる限り旅行にも行っています。コロナの影響で海外に行く機会は限られますが、その分、日本をもっと見ることができています。最近行ったのは、金沢、飛騨、奥日光などです。

園田・小林弁理士法人ご紹介

園田・小林弁理士法人は、国境のボーダーレス化が急速に進展する産業界において最も頼りになるリーガルサービスを提供することを目標に、園田吉隆弁理士と小林義教弁理士によって1998年に設立されました。弊所は12の国籍、10の使用言語を有する多国籍の約100名の所員からなる極めて国際的な専門家集団です。依頼者との意思疎通を重視し、事務所内外に対するオープンな雰囲気は創業以来の伝統です。

国内外における専門性と信頼度の高い知財サービスを提供する、真に頼りになる特許事務所を目指し、日々研鑽を重ねてまいります。

●東京 (TOKYO)

園田・小林弁理士法人

東京都新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビルディング34階

代表 mailbox@patents.jp

カスタマーサポートチーム DCS@patents.jp

●中国 北京 (BEIJING)

北京代表処 (Beijing Office)

Times Fortune World Tower 2, Room 2926,

No.1 Hangfeng Road, Fengtai District, Beijing 100070, China

ニュースレターの配信を希望しない方は、お手数ですが以下の Unsubscribe from the list をクリックしてください。
[update your preferences](#) or [unsubscribe from this list](#).

Copyright © 2021-2023 Sonoda & Kobayashi Intellectual Property Law. All rights reserved.

